令和３年６月18日

資料４

令和４年度実施　市民提案型協働事業　事前意見交換(中間)確認書

事　業　名	農業体験を通して不登校やひきこもりの若者と人材不足に悩む農家をつなぐ就農支援事業～平塚市「スマートライスセンター」のモデル構築に向けて～	
実施主体	団　体　名	特定非営利活動法人ぜんしん
	事業担当課	産業振興部・農水産課、平塚市農業委員会
意見交換の概要	【提案団体の考え】 ひきこもっている若者らがより実践的な職業体験を通して、人の役に立つことで、更に自信を培うことができ、ステップアップが見込める。 農家の方々ら、多様な人々との交流を通し、不登校・ひきこもりにある若者の自立を促す為には､本事業のプログラムが有効であると考えている。	
	【担当課の考え】 市の政策として、スマート農業の導入を支援し、農作業の管理のデジタル化などを進めていくが、農作業の補助を含め、デジタル処理の運用サポートに期待している。	
事業実施に向けての課題と対応	【確認できた現状の課題】 ①職業体験日は天候に左右される為、日程確認を丁寧に行うこと。 ②限られた時間内で、職業体験作業の理解を深めていく必要性がある。 ③5 月からの職業体験開始に向けて、多くの若者を受け入れる為、事前に告知を進める必要がある。	
	【確認できた課題への対応など】 ①市担当職員が、湘南ライスセンターほか農家の方との調整を行い、職業体験日等の実施日に間違いが生じないようにする。 ②職業体験日に団体スタッフが写真やメモ等を取り、作業理解を深める。 ③市・団体ともに「広報ひらつか」や SNS 等を活用し、事前に周知を行う。	
今後の展望	■①来年度実施協働事業として提案予定　□②今年度中に実施 □③団体単独で実施　□④行政単独で実施 □⑤現在、提案するか保留・検討中　□⑥他の制度を活用 □⑦提案、及び、実施をしない（実施への課題等を今後も双方で協議） □⑧その他（　　）	
上記で協働事業として提案しない場合等の理由	協働事業での実施が困難な理由などを具体的に記入してください。	
事業実施に向けての改善策	職業体験日等の日程調整は予め、ゆとりをもって決定していき、降雨等で日程変更を余儀なくされる場合は、市職員・農家の方・団体スタッフの連絡担当者を定め、誤りが生じないように留意したい。 初年度は、農家の方々と信頼関係を築き上げることが不可欠である。その為、市の担当職員と団体スタッフを交えた打合せでは、農家の方々の意見をしっかりと伺いながら、体験作業内容の理解等を着実に進めていく。	
協働推進課調整事項		